

主催： 公益社団法人応用物理学会 微小光学研究会
協賛： オプトロニクス社, 学振 125 委員会, 学振 130 委員会, 学振 162 委員会,
日本光学会, レーザ・量子エレクトロニクス研究会



第 146 回微小光学研究会

輝きを増す発光デバイス

「光」の語源は、神聖な存在であった「火」を扱う古代の聖職者の姿にあるという。炎が唯一の光源であった時代から見れば、人工的に生み出されて発達してきた現代の光源は、材料・発光原理・機能・用途が実に様々で、社会基盤や日常生活を支えるための創意工夫に満ち溢れている。本研究会では、様々な光源の最新の研究開発動向を幅広く俯瞰しながら、発光デバイスの未来を展望する。

日時： 2017 年 12 月 19 日(火)
会場： 早稲田大学西早稲田(理工)キャンパス
55 号館 N 棟 1 階第 2 会議室
〒169-8555 新宿区大久保 3-4-1
交通： JR 山手線 高田馬場駅から徒歩 15 分
西武新宿線 高田馬場駅から徒歩 15 分
副都心線 西早稲田駅 3 番出口に直結



<http://www.waseda.jp/top/access/nishiwaseda-campus>

プログラム

10:00-10:10	開会の挨拶	
10:10-10:40	窒化物半導体ナノコラム結晶による可視域発光デバイス	岸野 克己(上智大)
10:40-11:10	Si 基板上における GaN 系デバイスの開発 ~Si 基板上 LED の高効率化	木村 重哉(東芝)
11:10-11:40	有機 EL 光源の最新動向	硯里 善幸(山形大)
11:40-13:10	<昼食休憩>	
13:10-13:40	デジタルコヒーレント通信用狭線幅波長可変レーザー	向原 智一(古河電工)
13:40-14:10	ヘテロジニアス・シリコンフォトニクスを用いた高機能レーザー	北 智洋(東北大)
14:10-14:40	中赤外量子カスケードレーザーとその応用	藤田 和上(浜松ホトニクス)
14:40-15:10	<休憩>	
15:10-15:40	LED の電力効率に関する検討	波多腰 玄一(早大)
15:40-16:10	レーザー点火向け高出力 VCSEL ファイバー結合型モジュール	泉谷 一磨(リコー)
16:10-16:40	ナノ構造による白熱電球の高効率化	高原 淳一(阪大)
16:40-16:50	閉会の挨拶	

参加費： 一般 4,000 円, 学生・シニア 1,000 円 (資料代含む, 当日ご持参ください。)

参加申込： 不要 (直接会場にお越し下さい。)

担当委員： 木村 (東芝), 杉原 (宇都宮大), 水本 (東工大), 坂井 (リコー), 井藤 (NTT)

問合せ先： NTT 先端集積デバイス研究所 井藤幹隆 Tel:046-240-2848 Fax: 046-270-2331

E-mail: itoh.mikitaka@lab.ntt.co.jp (■を@に変えてください。)

微小光学研究会： 代表： 伊賀健一 副代表： 後藤顕也

運営委員長： 中島啓幾 運営副委員長： 波多腰玄一

実行委員長： 横森清 実行副委員長： 宮本智之

プログラムは、微小光学研究会ホームページ <http://www.comemoc.com/> でもご覧になれます。

20170911Ver.3